



2004年12月期 決算説明資料

LA BOHÈME
café

WEST
CANTINA

Monsoon

権八
GONFACHI

DINNER
Restaurants

PastaZio

FOOD
COLOSSEUM

Décadence du
Chocolat

GLOBAL-DINING

株式会社グローバルダイニング (7625)

2004年12月通期 決算報告

注意事項

本資料における将来に関する事項は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日における仮定を前提としております。

本資料中の記載金額については、表示単位未満の端数を切り捨てて表示しております。

This document contains forward-looking statements which represent the Company's expectations or beliefs concerning future events. The Company's actual results could differ materially from those stated or implied in the forward-looking statements herein.

GLOBAL-DINING INC.

損益計算書の概要

(単位:百万円)

[単体]	2004年12月期			予実差異		2003年12月期		2004 - 2003 差異		
	通期実績	修正予算	予実差異	通期実績	2004 - 2003 差異	通期実績	2004 - 2003 差異	通期実績	2004 - 2003 差異	
売上高	13,466	100.0%	13,411	100.0%	55	0.4%	12,900	100.0%	566	4.4%
売上原価	12,178	90.4%	12,036	89.8%	142	1.2%	11,661	90.4%	517	4.4%
材料費	3,708	27.5%	3,688	27.5%	20	0.5%	3,564	27.6%	144	4.0%
労務費	4,213	31.3%	4,106	30.6%	107	2.6%	3,997	31.0%	216	5.4%
経費	4,257	31.6%	4,242	31.6%	15	0.4%	4,099	31.8%	158	3.9%
売上総利益	1,287	9.6%	1,375	10.3%	88	-6.4%	1,238	9.6%	48	4.0%
販管費	890	6.6%	913	6.8%	23	-2.5%	779	6.0%	110	14.2%
営業利益	397	3.0%	462	3.4%	65	-14.1%	458	3.6%	61	-
経常利益	350	2.6%	442	3.3%	92	-20.8%	211	1.6%	138	65.9%
当期純利益	184	1.4%	213	1.6%	29	-13.6%	118	0.9%	66	55.9%
EPS	26.45		30.45				17.00			

[連結]	2004年12月期			予実差異		2003年12月期		2004 - 2003 差異		
	通期実績	修正予算	予実差異	通期実績	2004 - 2003 差異	通期実績	2004 - 2003 差異	通期実績	2004 - 2003 差異	
売上高	14,036	100.0%	14,009	100.0%	27	0.2%	13,446	100.0%	590	4.4%
営業利益	407	2.9%	448	3.2%	41	-9.2%	443	3.3%	36	-8.1%
経常利益	344	2.5%	433	3.1%	89	-20.6%	196	1.5%	148	75.5%
当期純利益	185	1.3%	209	1.5%	24	-11.5%	104	0.8%	81	77.9%
EPS	25.54		29.88				14.92			

- 合計売上高はほぼ予算どおりに着地。前年比 + 4.4%は下期の新規出店による寄与。
- 既存店売上高は予算を若干下回り、連結 1.8%・単体 2.1%。
- 労務費の予実差異 0.7ポイントが売上総利益の予実差異に影響。
- 経常利益は予算比 92百万円・前期比 + 139百万円。新店費用や為替差損が影響。

出店年度別業績比較(単体)

(単位:百万円)

オープン年度

2004 合計			2002 以前		2003		2004		その他*	
売上高	13,466	100.0%	11,323	100.0%	1,674	100.0%	280	100.0%	188	100.0%
売上前年比	4.4%		-1.2%		28.4%				37.4%	
既存店前年比	-2.1%									
売上原価	12,178	90.4%	9,787	86.4%	1,560	93.2%	560	199.8%	271	143.9%
材料費	3,708	27.5%	3,136	27.7%	453	27.1%	93	33.1%	26	13.8%
労務費	4,213	31.3%	3,489	30.8%	484	28.9%	150	53.3%	91	48.1%
経費	4,257	31.6%	3,162	27.9%	622	37.2%	318	113.4%	154	81.9%
売上総利益	1,287	9.6%	1,537	13.6%	114	6.8%	280	-99.8%	84	-44.4%
前年比	49		52		441				59	
前年比%	4.0%		-3.3%		-				-	
店舗数	56		39		5		10		2	

2003 合計			2002 以前		2003				その他*	
売上高	12,900	100.0%	11,459	100.0%	1,304	100.0%			137	100.0%
売上原価	11,661	90.4%	9,869	86.1%	1,632	125.2%			161	117.5%
材料費	3,564	27.6%	3,179	27.7%	377	28.9%			7	5.1%
労務費	3,997	31.0%	3,442	30.0%	492	37.7%			63	46.0%
経費	4,099	31.8%	3,245	28.3%	762	58.4%			92	67.2%
売上総利益	1,238	9.6%	1,589	13.9%	327	-25.1%			25	-18.2%
店舗数	45		39		5				1	

その他の数値は、ウェディング部門・デカダンス「デュ ショコラ」代官山店及び渋谷マークシティ店
ケーキ工場「ユジニアガトー」の合計値

コンセプト別業績比較 (単体)

(単位:百万円)

2004	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	ディナー レストラン	パスタジオ	フード コロシウム	その他*
売上高	13,466	4,155	1,681	3,313	2,858	1,120	117	31	188
売上前年比	4.4%	6.1%	-0.9%	-0.1%	10.7%	-2.6%	-	-	-20.0%
既存店前年比	-2.1%	-3.0%	-3.9%	-3.6%	1.9%	-2.6%	-	-	-
売上原価	12,178	3,615	1,515	2,885	2,506	1,070	187	128	271
材料費	3,708	1,118	445	891	845	335	37	11	26
労務費	4,213	1,278	520	1,008	872	361	56	24	94
経費	4,257	1,219	549	986	789	374	94	92	154
売上総利益	1,287	541	167	428	352	50	70	97	84
売上総利益率	9.6%	13.0%	9.9%	12.9%	12.3%	4.5%	-59.5%	-310.0%	-44.4%
店舗数	56	19	8	11	6	4	5	1	2

2003	合計	ラ・ボエム	ゼスト	モンスーン	権八	ディナー レストラン	パスタジオ	フード コロシウム	その他*
売上高	12,900	3,917	1,697	3,318	2,582	1,150	-	-	235
売上原価	11,661	3,456	1,592	2,916	2,298	1,096	-	-	303
材料費	3,564	1,066	458	907	745	345	-	-	42
労務費	3,997	1,194	533	1,000	804	357	-	-	109
経費	4,099	1,195	600	1,009	748	394	-	-	152
売上総利益	1,238	461	105	402	285	54	-	-	69
売上総利益率	9.6%	11.8%	6.2%	12.1%	11.0%	4.7%	-	-	-29.4%
店舗数	45	18	8	10	4	4	0	0	1

* その他の数値は、ウェディング部門・デカダンス「デュ ショコラ」代官山店・渋谷マークシティ店、ケーキ工場「ロジニアガトー」、及び2002年に开店し2003年9月に「カフェラ・ボエム骨董通り」に業態変更いたしました「ダンシングモンキー」の合計値です。

損益計算書概要 (子会社)

(単位:千ドル)

	2004年12月度			2003年12月度	
	実績	予想	差異	実績	差異
売上高	5,467	5,582	115	5,096	371
営業利益	93	131	38	144	-
経常利益	63	84	147	122	-
当期純利益	4	37	-	113	-
為替レート	104.21	107.13		107.13	

- 売上高は前期比 「ラ・ボエム」+ 2.3%、「モンスーンカフェ」+ 10.8%、子会社全体で+ 7.3%の546万ドル
- 2005年期オープン予定の「権八」向け人員配置等による販管費15万ドルを計上

連結貸借対照表 / キャッシュ・フロー 概要

(単位:百万円)

[連結貸借対照表]

	2004年12月		2003年12月		前期比%
流動資産	3,518	27.4%	3,618	30.2%	97.2%
現預金	2,606		2,783		93.6%
固定資産	9,312	72.6%	8,370	69.8%	111.3%
有形固定資産	7,624		6,879		110.8%
総資産	12,830	100.0%	11,989	100.0%	107.0%
負債	6,642	51.8%	5,929	49.5%	112.0%
借入金、社債	4,518		4,415		102.3%
株主資本	6,188	48.2%	6,060	50.5%	102.1%
負債・資本合計	12,830	100.0%	11,989	100.0%	107.0%

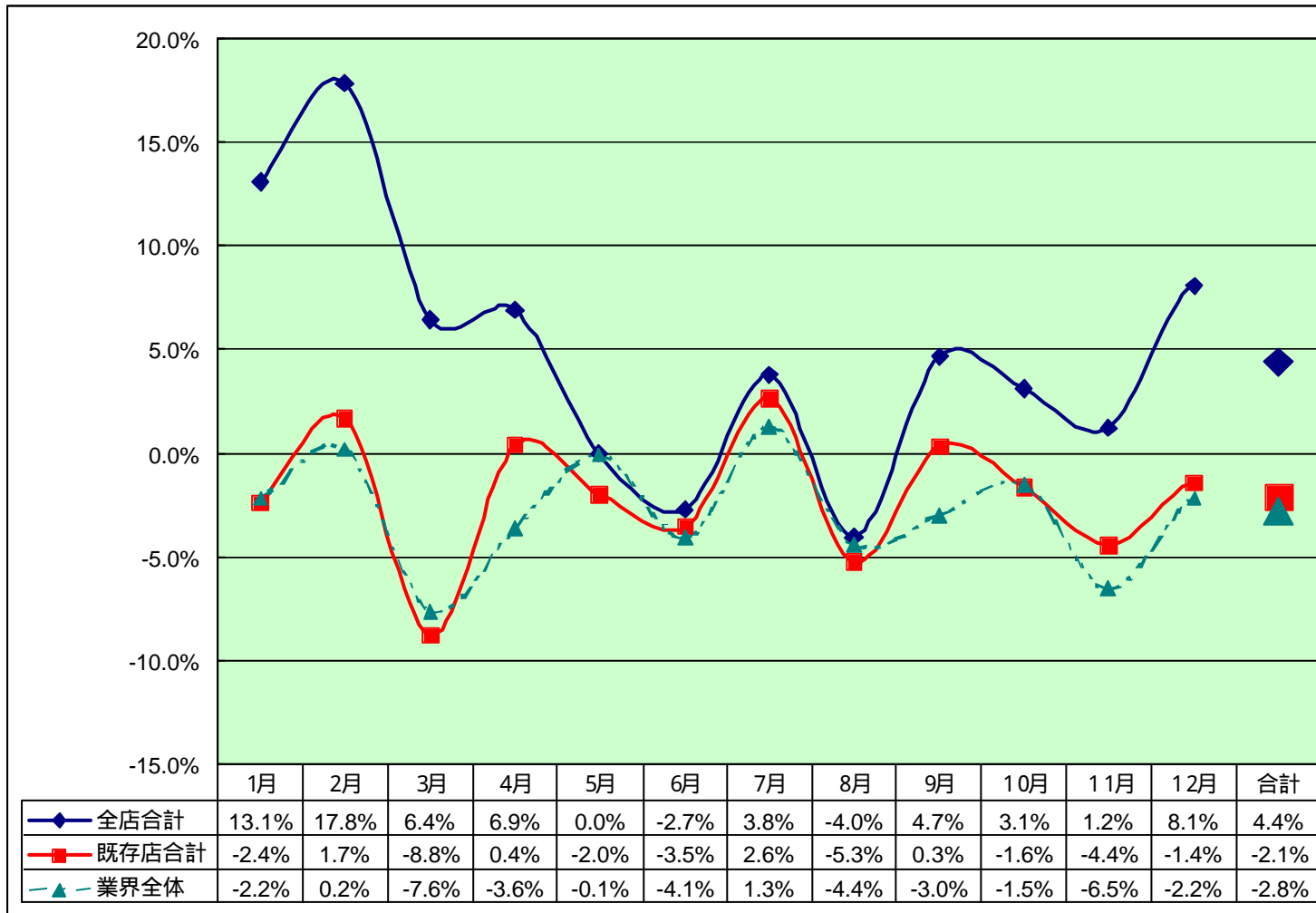
- 下期の出店により固定資産が増加

[連結キャッシュ・フロー]

	2004年12月	2003年12月	増減
営業キャッシュ・フロー	1,040	1,276	236
投資キャッシュ・フロー	1,038	67	1,105
財務キャッシュ・フロー	66	1,582	1,648
現金・同等物の増減	64	243	307
期首現金残高	1,486	1,729	243
期末現金残高	1,550	1,486	64

- 投資キャッシュ・フローは前期比11億5百万円減少。前期発生した有価証券の償還(11億79百万円)が今期発生せず
- 財務キャッシュ・フローは前期比16億48百万円増加。新規出店を見込み、短期借入金で16億円調達

月次売上高 対前年比推移 (単体)



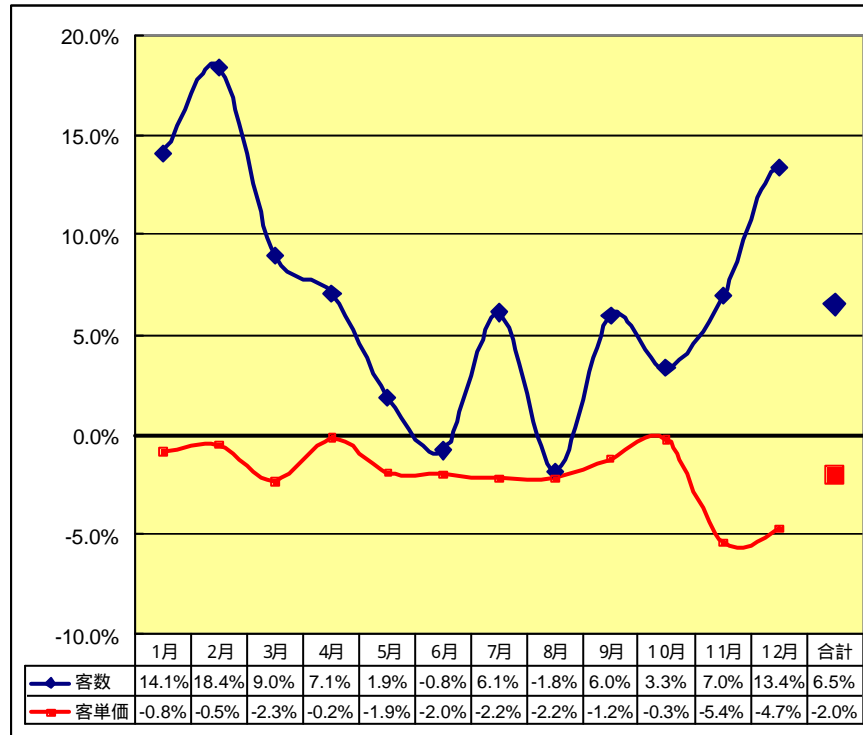
- 2004年は下期に出店を集中
- 飲食業全体・当社とも猛暑、及び台風の影響を受け下半期の回復が遅れる

1. ウェディング部門は除く
2. 既存店は開店後13ヵ月経過した店舗
3. 飲食業全体は、日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」のデータを使用

客数と客単価の対前年比推移 (単体)

全 店

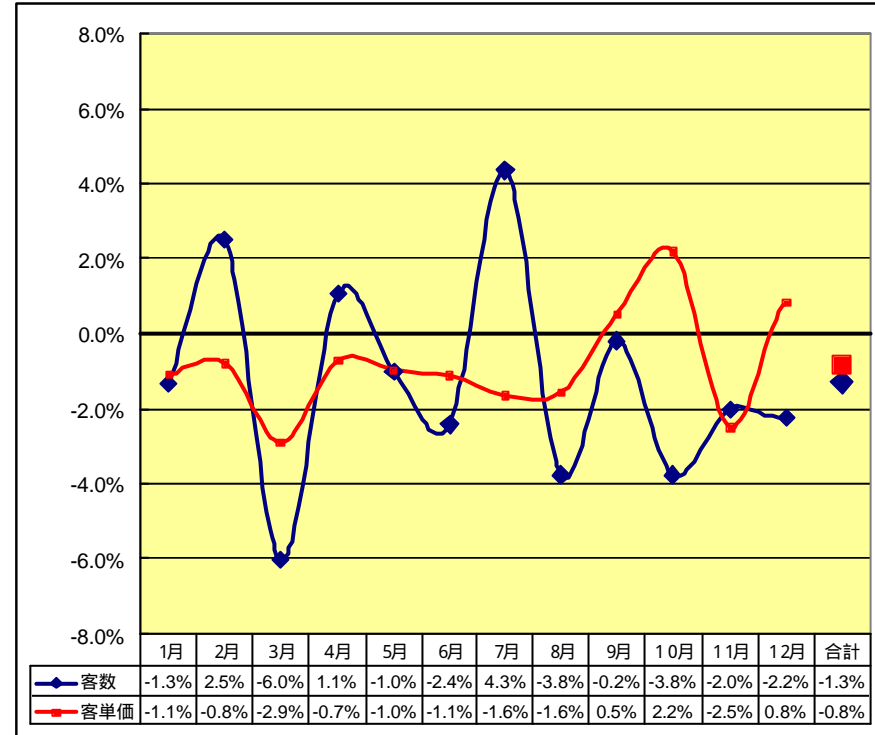
(%)



前年比 : 客数 + 6.5% 客単価 2.0%

既 存 店

(%)



前年比 : 客数 1.3% 客単価 0.8%

■ 全店ベースでは、昨年新規出店した5店舗が客数の増減に5月まで影響し、今期の新規出店は9月以降に影響

2005年12月期予算

(単位:百万円)

[単体]	2005 通期予算		2004 通期実績		増減	
売上高	15,097	100.0%	13,466	100.0%	1,631	12.1%
売上原価	13,629	90.3%	12,178	90.4%	1,451	11.9%
材料費	4,230	28.0%	3,708	27.5%	522	14.1%
労務費	4,498	29.8%	4,213	31.3%	285	6.8%
経費	4,900	32.5%	4,257	31.6%	643	15.1%
売上総利益	1,468	9.7%	1,287	9.6%	181	14.0%
販管費	863	5.7%	890	6.6%	27	-3.0%
営業利益	605	4.0%	397	3.0%	208	52.3%
経常利益	565	3.7%	350	2.6%	215	61.5%
当期純利益	283	1.9%	184	1.4%	99	53.6%
EPS	40.41		26.45			
[連結]	2005 通期予算		2004 通期実績		増減	
売上高	15,813	100.0%	14,036	100.0%	1,777	12.7%
営業利益	575	3.6%	407	2.9%	168	41.2%
経常利益	518	3.3%	344	2.5%	174	50.6%
当期純利益	236	1.5%	185	1.3%	51	27.3%
EPS	33.68		26.54			

- 売上高は12.1%の増加を見込む
- 既存店売上高：
 - 連結前期比 0.5%
 - 単体前期比 0.8%
- 単体で既存業態より5店舗出店予定。今期出店費用を含む損益は2億17百万円
- 円ドル為替レートは2004年12月と同水準で見込む
- 子会社は来期の新規出店に伴い開店準備費用を含め47百万円の赤字を見込む

2005年度予算 (単体・半期ベース)

(単位:百万円)

	2005予算							2004実績			
	上期	前年比	下期	前年比	通期	%	前年比	上期	下期	通期	%
売上高	7,111	10.8%	7,986	13.3%	15,097	100.0%	12.1%	6,416	7,050	13,466	100.0%
売上原価	6,340	10.9%	7,289	12.8%	13,629	90.3%	11.9%	5,716	6,462	12,178	90.4%
売上総利益	771	10.1%	697	18.5%	1,468	9.7%	14.1%	700	587	1,287	9.6%
営業利益	329	24.1%	276	109.1%	605	4.0%	52.1%	265	132	397	3.0%
経常利益	316	11.7%	249	271.6%	565	3.7%	61.3%	283	67	350	2.6%
当期純利益	158	8.2%	125	236.8%	283	1.9%	52.8%	146	38	184	1.4%

- 既存店売上高は前期比上期 1.1%・下期 0.5%・通期 0.8%
- 新規出店は、既存カジュアル業態より下期に5店舗

事業活動報告

事業活動報告

メニュー開発

- 全社共通のメニュー開発プロセスを確立
 - 品質の確保 (コンセプトごとに異なっていた品質基準を統一)
 - 食材共有化の推進 (スケールメリット、食材原価の低減)
 - 合理化 (メニューアイテム、仕込み数、食材数の絞込み)
- 新たな顧客層の開拓
 - 禁煙席の拡充 (禁煙席70%確保)
 - 健康、安全志向への対応 (生産者の顔が見える食材強化)

事業活動報告

採用・教育 (品質・サービスの強化)

- お客様のご意見 (メール等) を材料に、品質、サービス強化
- 有能な人材を輩出する仕組みづくり
 - 有能な人材を見極める目を養う
 - 有能な人材を確保する仕組み (インセンティブ等)
 - 教育を行い、競争原理を働かせ、必要なら人材の入れ替え
 - チームのレベルアップ
- 各店舗の組織図、業務分担の見直しを図る
 - アルバイトスタッフからアシスタントマネージャーまで、各々の業務を明確化
 - 明確なポジション目標を定め、公正な競争環境を整え、レベルアップを図る
- コンセプト制導入による弊害の解消
 - 全社合同オリエンテーションの導入
 - クレームは全社の問題として活かす (ケーススタディによるロールプレイングの実施)

事業活動報告

新業態の開発

■ PastaZio

- 2004年出店計画 8店舗も5店舗の出店に留める
- 2005年下期黒字化見込む

■ Food Colosseum

- ラグジュアリー (贅沢) をテーマとしたフードコート
- 2002年オープンのパイロット店舗 (ダンシングモンキー) の経験が身を結ぶ
- 初の地方出店
- ユニークな精算システムを導入

事業活動報告

組織改革

- コンセプトレイダー・コンセプトシェフ制度確立
- オフィサー制度の見直し
 - [参考]
 - 2001年 CEO COO CFO (F-ファイナンスオフィサー)・CIO (F-インフォメーションオフィサー)
 - 2002年 CEO COO CFO CIO
 - 2003年 CEO COO CFO CIO CPO (F-パートナーズオフィサー)
 - 各コンセプト(業態)のコンセプトレイダー・コンセプトシェフ選任時期
 - 2004年 CEO COO CFO CIO CPO 各々のコンセプトレイダー・コンセプトシェフ
 - 2005年 CEO COO 各々のコンセプトレイダー・コンセプトシェフ
 - オフィサー制度見直し FD (Qアイトスディレクター) PD (P-チーフディレクター)
- トップマネジメントの教育
- コンセプトレイダー・コンセプトシェフの意識改革 (経営会議は隔週から毎週開催)
 - 現場マネジャーからの脱皮
 - 才能の見出し 人材の獲得 維持 教育 競争のレベルアップ
- 2005年CEO・COO・コンセプトレイダー・コンセプトシェフの競争強化・レベルアップへ
 - CEO COOの報酬減額実施

事業活動報告

インセンティブ制度の改訂

- COO、各々のコンセプトリーダー、コンセプトシェフのインセンティブ
 - 2004年上期 ボエム、権八を除き、ボーナスゼロ
 - 2004年下期 ボーナス微増 (ディナーレストラン、パスタジオはボーナスゼロ)
- 店長・チーフボーナスプログラム下期から変更
 - 経営実態がより反映された
 - ボーナス受給者数が増えた (支給総額は上、下期変わらず、収益面の違いはない)

管理部門の強化

- ERP (情報のプラットフォーム)本格稼働
 - Hyperion Essbase[®] (ハイペリオン エスベース) 導入により 多角的分析が実現
 - プランニング (予算、予測) の充実、レポートイング (連結等) の敏速化

今後の展望

今後の展望

収益性の向上

- 既存店の売上向上
- 赤字店舗の改善

2005年新規出店計画

- 既存カジュアル業態から計5店舗出店予定
 - ・ ラ・ボエム 2店舗、ゼスト・モンズーンカフェ 権八各々 1店舗出店予定
- 海外出店
 - ・ アメリカ 権八 Beverly Hills 秋期出店予定

新業態の推進

- PastaZio
- Food Colosseum